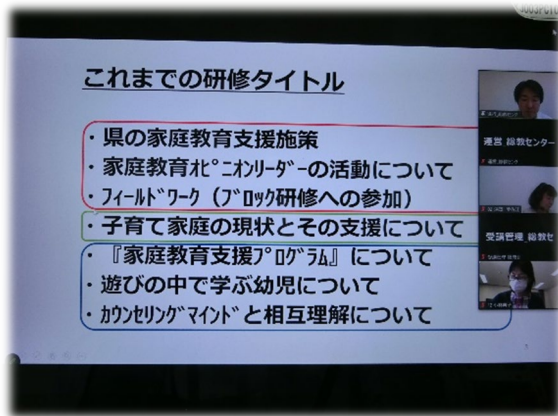


令和5年度 家庭教育オピニオンリーダー研修⑤ 実施報告

実施日：令和5年10月18日（水）

○ 説明「家庭教育支援の取組に向けて①」

総合教育センター職員



最初に、本研修のこれまでの流れ（家庭教育の現状と課題を学ぶ・現在家庭教育や子育ての支援のために行われている取組の実際について知る・家庭教育や子育ての支援に生かすことができる知識・技術を学ぶ）を再確認し、学んだ内容を整理しました。次に、自分たちに今後できそうな家庭教育や子育てを支援する取組を考えるための協議の進め方を確認しました。また、受講者一人一人が、研修での学びと共に、日常生活で感じる現在の子育て家庭の課題、その解決に向けた思いなども整理した上で協議に臨むことや、実現可能性の高い取組となるように工夫することなどの協議のポイントが示されました。

○ グループ協議「家庭教育支援の取組に向けて①」

総合教育センター職員

このグループ協議を、研修全体のまとめとして位置づけています。受講者は、4人1グループで家庭教育や子育ての現状と課題を共有し、それらの解決を目指すためにどんな取組ができそうか、意見を出し合いながら取組案を作成し、次の研修最終日に発表する予定です。

どのグループも取組のねらいや主要内容、期待される効果など、発表する案の概要を固めることを目標として協議を進めました。協議は、個人用とグループ用の2種類のワークシートを活用して行いました。一人一人が自分の考えを個人用ワークシートに整理してから協議に臨んだことで、より焦点が絞られた話し合いとなりました。

今回は、案の細部についてさらに協議を進めながら発表に備えることとなります。どんな発表となるか、今から楽しみです。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・他市町において様々な活動や仕事に携わる方から、子育ての現状や思いを聞かせていただき、改めて家庭教育支援の課題を実感しました。視点が違えば、新たな課題を知ることができます。多くの方から話を聞く機会を得ることができ、ありがたかったです。
- ・協議の中で、実際に子育てをしている方々の貴重なお話を伺うことができました。その中で、気楽に話することができる人との出会いや場作りが重要であることを再認識しました。
- ・地域差はあっても、抱える課題は共通していることも多いです。この研修でせつかくつながることができたので、この縁を大切に、他市町の取組を参考にさせていただこうと思います。
- ・今日の話し合いでは、実際に実現可能なことを考えたので、自分の参加しているボランティア団体でも実行できたら良さそうだなと思います。
- ・研修全体を振り返り、「傾聴」の大切さを再認識できたので、今後の活動や普段人と接していく際に大切にしていきたいと思いました。
- ・最初は難しそうでしたが、グループの皆さんと話し合う中で自分の考えを深めることができ、とても良い研修となりました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp